

戦跡紹介

模擬原爆投下跡地の碑

大阪府大阪市東住吉区田辺1-6



原子爆弾とはほぼ同じ形状をしている“模擬原爆”は、1945(昭和20)年7月20日から8月14日にかけて、日本全国30都市に49発投下されました。

大阪では、7月26日午前9時ごろ、東住吉区の田辺本町に投下されました。爆心地は料亭・金剛荘で、死者7人・重軽傷者73人・焼失倒壊家屋486戸の被害がありました。

爆心地付近には、2001年に「模擬原爆投下跡地の碑」が建立され、田辺に投下された事実を伝えています。

ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

会員特典	◇1年間無料で入館でき、常設展示や特別展示などを自由にご覧になれます。 講演会・特別展示等の催し案内や館報「ピースおおさか」を送付します。
会費	◇個人会員 年額2千円 ◇団体会員 年額1万円(1口) ※何口でも結構です。
申込方法	◇直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ◇銀行振込(りそな銀行、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行) ◇郵便局振込

ピースメッセージ

ピースおおさかに来られた方から寄せられた
ご意見・ご感想の一部をご紹介します。

- 素晴らしい展示だ。平和の利益を知るために人々にはよく戦争の悲劇をみておかなければならないのだ。素晴らしい展示だった。(原文は英語) アメリカ(23歳)
- 本当に悲しい歴史です。信じがたい。戦争は悲惨を呼び込むのだ。すべての国々に平和が訪れることを望みます。(原文は英語) ブラジル (37歳)
- 私たちは過去を変えることはできませんが、未来を構想することはできます。よい教育は必ずや若い人々の国際化の基礎となるでしょう。私たちはもはや国境線に対立せず、人類が世界平和に至った、世界的なコミュニティで生きていくでしょう。(原文は英語) アメリカ(66歳)
- 戦争の悲惨さが明瞭に描かれていてとてもよかった。双方からの酷い行動への展示の公平なアプローチが好ましかった。(原文は英語) カナダ(22歳)
- 歴史は学ぶべきものです。この博物館に来たことは私にとってとても重要でした。私たちは過去から学ばなければならないのです！(原文は英語) イラン(33歳)
- 平和の大切さがとてもよくわかった。大阪府(10代)
- 戦争のこわさがわかった。大阪市(10代)
- 次の世代に伝えるために…。祖母に話を聞いても泣いてしまうのでここでの資料は参考になった。大阪府(20代)
- しっかりとじつづを伝えていってもらいたい。戦争がなくなるように。他府県(30代)
- 大阪大空襲について、非常に生々しく、そして、全体像がきちんと伝わって来ました。他府県(50代)
- 語り継ぐきっかけが生まれた。大阪府(60代)
- 昔のことが蘇りました。思い出深いものばかりです。大阪府(80代)

寄贈品紹介

●岡部博葬儀写真

平和や人権などについて数多くの著作を出した随筆家・岡部伊都子さん。

1942(昭和17)年1月には、兄・博さんがマレーで戦死しており、この写真はその葬儀の様子を写したものです。岡部博追悼文集『飛ろし』(寄贈品。全文コピー)によれば、「昭和十七年八月廿日 明治町会連合会 明治銃後報国会 明治在郷軍人分会 主催各種団体 有志殿 御参列の慰霊帰還行列の一部」です。太平洋戦争初期の葬儀や空襲前のおおさか・船場の様子を垣間見られる、大変貴重な資料です。



新館長就任

2013年4月1日付けで、元大阪府労働委員会事務局長 岡田 重信が新館長(常務理事兼務)に就任いたしました。

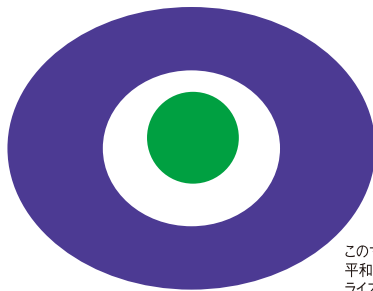
- ピースおおさかご利用あんない
- ◆団体見学の申込受付 ◆戦争と平和に関する展示・映画上映
 - ◆「空襲体験のお話」講師の紹介 ◆ビデオ・DVD・図書資料の閲覧
 - ◆平和学習用16ミリ映画・DVD・ビデオ・写真パネル・体験団の団体貸出
 - ◆戦争と平和に関する資料の寄贈受付

資料寄贈者 2012.4.1 ~ 2013.12.31(敬称略)

団体		
尼崎市立地域研究史料館	埼玉県平和資料館	ひめゆり平和祈念資料館
大阪ガスエネルギー・文化研究所	財団法人 対馬丸記念会	広島大学平和科学研究センター
大阪市教育委員会	堺市立中央図書館	広島平和祈念資料館
大阪市史編纂所	滋賀県平和祈念館	ボーンフリーアート大阪
大阪府立近つ飛鳥博物館	品川区立品川歴史館	明治学院大学国際平和と研究所
大阪歴史教育者協議会	社会福祉法人	横浜の空襲を記録する会
大阪歴史博物館	イエス団どうの木保育園	立命館平和ミュージアム
沖縄県平和祈念資料館	昭和館	和歌山市立博物館
貝塚市教育委員会社会教育課	吹田市立博物館	
外務省日蘭平和交流事業視察団	鈴鹿市文化振興部文化課	
関西国際交流団体協議会	全国疎開学童連絡協議会	
関西大学生生活協同組合	戦時下の小田原地方を記録する会	
関西大学文学部地理学・地域環境学教室	創価大学平和問題研究所	
旧真田山陸軍墓地とその保存を考える会	総務省	
京丹後市教育委員会文化財保護課	田沼肇 全活動・著作編集委員会	
呉市海事歴史科学館	朝鮮通信使学会	
原爆文学研究会	東京大空襲・戦災資料センター	
公益財団法人	長岡市総務部庶務課	
世界人権問題研究センター	日本戦没学生記念会	
甲蟲派	野田市郷土博物館・市民会館	
甲南大学人間科学研究所	東広島市原爆被爆資料保存推進協議会	
国立歴史民俗博物館		

個人

浅野 江美子	大塚 金子	砂湖 和子	田原 恭蔵	堀田 信吾	山田 喜弘
朝野 富三	大室 玲子	佐湖 龍子	辻 和子	松下 昭	山中 嘉太郎
安部 吉謙	岡田 重信	佐々木 誠	土屋 一男	真鍋 正志	山本 芳郎
伊賀 孝子	岡部 浩	島岡 安次郎	徳元 博隆	水知 悠之介	横山 豊
石田 孝三	小川 早苗	嶋崎 恵子	富田 健次	三宅 宏司	吉岡 武
出雲 孝子	梶本 孝浩	嶋野 貞夫	中川 敏夫	宮本 富士代	吉田 真知子
磯野 潤	金岡 道子	菅 富士夫	中川 賢	宮脇 豊一	吉永 清敏
井上 千栄子	金児 暁嗣	鈴木 順子	中多 政人	三好 良子	
井上 明和	金田 茉莉	高島きくえい	能登 宏之	森岡 譲	
今木 誠造	神谷 伸子	高塚 久司	原田 智恵子	八木 静子	
上江洲 清	川内 久栄	武田 圭史	菱田 嘉重子	安井 章	
内野 咲司	北清水 豊	田中 壽枝	人見 佐知子	安田 文男	
浦田 栄二	久保 在久	田邊 久人	福岡 孝子	矢萩 雅一郎	



このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

ピースおおさか
OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2014 3/12
(平成26) No.44

編集・発行／財団法人 大阪国際平和センター
〒540-0002 大阪中央区大阪城2番1号
TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080
ホームページ <http://www.peace-osaka.or.jp>

ピースおおさか 2015年にリニューアルオープン予定!

戦後69年が経過し、戦後生まれが総人口の3/4を占めるようになりました。自らの経験として戦争を語れる人はますます少なくなっています。戦争の記憶を風化させることなく、次代を担う子どもたちに戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えていくために、ピースおおさかの果たす役割が一層重要となってきています。

1991年9月17日に開館したピースおおさかは、今年で23年目を迎えました。入館者の6～7割を小中学生が占めており、子どもたちの平和学習施設として利用されています。「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えることができる展示」という観点から、この度、開館から一度もなされていなかった常設展示のリニューアルに向けて取り組んでいます。

2014年9月に閉館し、戦後70年にあたる2015年4月にリニューアルオープンを予定しております。詳細については決まり次第、ホームページにてお知らせします。

閉館中はご不便をおかけしますが、開館以来のリニューアルにご期待ください。

リニューアルのイメージ



Cゾーン「戦時下の大阪の暮らし」



Dゾーン「多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪」



Fゾーン「私たちの未来を創っていくために」

寄贈資料、展示しています!
ピースおおさか収蔵品展

Ⅳ: 2013(平成25年) 4月16日(火)～ 6月30日(日)
Ⅴ: 2013(平成25年) 7月16日(火)～ 9月29日(日)
Ⅵ: 2013(平成25年)10月15日(火)～ 12月27日(金)
Ⅶ: 2014(平成26年) 1月28日(火)～ 3月30日(日)

ピースおおさかでは、戦争の記憶を次世代に伝えていくため、当時の生活の様子や戦争に関わる貴重な資料の寄贈を呼びかけ、多くの方々のご協力をいただいております。

寄贈資料は展示等で活用しており、2013年度に開催した収蔵品展では昭和初期から大戦末期の空襲に至るまでの“モノ語り”について展示し、多くの来館者に見学いただきました。

戦争と平和に関する資料は戦前・戦中・戦後のもの、大阪に関係するものを引き続き収集しておりますが、現在進めている展示リニューアルにおいて、展示品として使用する戦後関係の資料が不足しています。

特に、連合国軍による占領期にあたる昭和20～27年の生活用品などをお持ちの方がおられましたら、お電話等でご連絡ください。

探しています!
特に“占領期”の資料を

●問い合わせ先●ピースおおさか
〒540-0002 大阪中央区大阪城2番1号
TEL.06-6947-7208 FAX.06-6943-6080

ピースおおさか2012(平成24)年度4月から2014(平成26)年3月までの主な事業

今、語り、知り、学ぼう ～二度と戦争の悲劇をくり返さぬために～

“語り継ぎ部” 育成のための交流会

日時：2013(平成25)年3月14日 木 午後1時30分～4時30分 参加者：120名

戦争体験者が減少する中、直接戦争体験はないが「語り部」の代わりとなり、戦争を語り継いでいく役割を果たす“語り継ぎ部”の存在に注目が集まっています。次の世代への戦争記憶の継承のために、“語り継ぎ部”の育成は重要な取り組みです。

第一次大阪大空襲のあった3月14日、大阪府内で戦争体験の継承に取り組む11の市民団体、サークル、個人の方に、ピースおおさかに集まいただきました。そして、ピースおおさか開館以来初めての取り組みとして、“語り継ぎ部”育成のための交流会を開催しました。

交流会では、語りだけでなく、紙芝居や朗読、音楽など、各グループが戦争記憶を継承するために行っているさまざまな方法が紹介され、語り継ぎ活動を行う中で、感じたこと、今後に向けた思いなどを互いに話す場となりました。



終戦の日平和祈念事業 ～日越外交関係樹立40周年記念事業～

講演会と歌で検証する戦争と平和

日時：2013(平成25)年8月4日 日 午後1時30分～4時 参加者：280名



2013年は日本・ベトナム外交関係樹立40年にあたることから、日本とベトナムの文化交流を紹介する事業を開催しました。

第1部では、富田健次さん（元大阪外国語大学・大阪大学教授、一般財団法人ベトナムист・クラブ代表）を迎え、「日本とベトナムの文化交流の過去と現在」をテーマに講演を行いました。第2部では、高橋樺子さん、田中裕子さん（ピアノ）による歌のステージにより、音楽でベトナムを感じてもらいました。ナビゲーターは、もず唱平当財団理事が務めました。

あまり知られていない日本とベトナムの関係などから、多くの方にベトナムを身近に感じてもらう機会となりました。

終戦の日平和祈念事業

戦争犠牲者追悼式と平和コンサート

日時：2013(平成25)年8月15日 木 午後2時～3時30分 参加者：120名

2012年度に引き続き、終戦の日の8月15日に「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」を開催しました。

戦争体験者による紙芝居や相愛大学卒業生による声楽アンサンブルと弦楽四重奏の平和コンサート、刻の庭での菊献花、昇鶴祭などを行いました。

先の戦争で犠牲となった方々への追悼を示すとともに、出演者ひとりひとりの平和に対する想いを参加者に届け、戦争や平和について改めて考えてもらう機会となりました。



16ミリ映画・DVD・ビデオ・写真パネルの貸出

地域や学校での平和学習に、16 ミリ映画フィルムや DVD・ビデオ、写真パネルをご利用ください。無料で8日間利用できます。

終戦の日平和祈念事業

(1)「講演会と歌で検証する戦争と平和」

日時：2012(平成24)年8月4日 土 午後1時30分～4時

第1部 基調講演と対談
基調講演 モンテ・カセム(立命館大学国際平和ミュージアム館長)
対 談 モンテ・カセム、もず 唱平(当財団理事)
第2部 歌のステージ
(歌)高橋樺子 (ピアノ)田中裕子 参加者：153名

(2)「ヒロシマを忘れない～証言と紙芝居『はだしのゲン』」

日時：2012(平成24)年8月5日 日 午後1時30分～4時

証 言 高木 静子(大阪市原爆被害者の会事務局長)
紙芝居 青空 みかん 参加者：103名

(3)「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

日時：2012(平成24)年8月15日 水 午後2時～8時

第1部 平和コンサート
相愛大学 OB (「DOLCE」)、相愛高校 (音楽科有志)、
大阪女学院中学校生徒
第2部 昇鶴祭
第3部 キャンドルナイト 参加者：600名

開館の日平和祈念事業

(1)「知っていますか?十六地蔵の悲劇」

日時：2012(平成24)年9月15日 水 午後1時30分～4時

第1部 講演「十六地蔵の悲劇が意味するもの」
講師：奥村 誠一
第2部 シンポジウム 司会：赤塚 康雄 参加者：147名

(2)「～関西三都空襲～ 京都・大阪・神戸 あなたは関西で大阪以外の空襲の悲劇を知っていますか?」

日時：2013(平成25)年9月15日 水 午後1時30分～4時

シンポジウム「京都・神戸・大阪 ～三都空襲の悲劇と実態～」

第1部 京都の空襲
映像紹介
講演「西陣空襲について」 講師：磯崎 幸典
第2部 神戸の空襲
講演「神戸空襲の概要について」 講師：中田 政子
報告「学童疎開について」 講師：米倉 澄子
第3部 大阪の空襲
映像紹介
講演「8月14日の京橋空襲について」 講師：藤溪 純子 参加者：102名

開戦の日平和祈念事業

(1)「講演会と歌で検証する戦争と平和」

日時：2012(平成24)年12月9日 日 午後1時30分～4時

第1部 講演「三畳小屋の伝言～陸軍大将今村均の戦後」
講師：朝野 富三(宝塚大学教授)
第2部 歌のステージ
(歌)高橋樺子 (ピアノ)田中裕子 参加者：182名

(2)「ピースシネマスペシャルデイ」

日時：2013(平成25)年12月8日 日 午後1時30分～3時

大阪大空襲に関する映画上映 参加者：95名

そのほか、平和紙芝居(毎月4回)、戦跡ウォーク(各月第2日曜)、ウィークエンド・シネマ(毎月土曜日)等も実施しました。

ピースおおさかのいろんな形の屋根

平和とは、多様なものが相互に認めあって同時に存在し得る世界であることを表現しています。

大阪大空襲平和祈念事業

(1)「忘れない! あの日のこと ～空襲写真を検証する～」

日時：2013(平成25)年3月3日 日 午後1時30分～4時

第1部 幻の卒業式
第2部 「空襲被災写真から検証する大阪・堺・豊中市の空襲」
基調講演 小田 康徳(大阪電気通信大学教授)
講演：水知 悠之介、網 信二、能登 宏之ほか 参加者122名

(2)「第2回『語り継ぎ部』育成のための交流会 ～「語り部」から学ぶ～」

日時：2014(平成26)年3月13日 日 午後1時30分～4時

第1部 映画上映と講演
講師：伊賀 孝子、奥村 誠一、久保 三也子
第2部 交流会

東日本大震災復興支援事業

「平和の歌声 カラオケ道場」

日時：2012(平成24)年9月29日 土、10月13日 土、
11月17日 土、12月22日 土

2013(平成25)年1月19日 土、2月16日 土、
3月30日 土 午後1時30分～4時

道場主：もず 唱平 師範代：高橋 樺子、鳴門家 寿美若
ゲスト審査員：三山 敏さん 参加者：1,289名

「歌による女の昭和戦記」

日時：2012(平成24)年7月8日 日 場所：仙台市戦災復興記念館

第1部 講演 講師：もず 唱平
第2部 歌と語りなど 高橋 樺子 参加者：150名

「戦争と平和の語り部教室「親子de戦跡ウォーク」

(大阪府「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」難波宮公園周辺施設で「子ども教室モデル事業」の一環として開催)

日時：2012(平成24)年12月8日 土 午前10時～4時
難波宮周辺の戦跡フィールドワークと館内見学 参加者：28名

「ピース×アート～平和を願うワークショップ～」

日時：2013(平成25)年6月2日 日 午後1時30分～4時

・平和紙芝居
・ジョン・デバラジ氏による絵画寄贈式及び感謝状贈呈式
・「ねがい」作詞ワークショップ
もず唱平、相愛高校音楽科有志
・歌のステージ
(歌)高橋 樺子 (ピアノ)田中 裕子
・相愛高校音楽科有志による合唱 参加者：83名

「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」

主催：政府拉致問題対策本部・大阪府・府内全市町村
協力：ピースおおさか
映画上映および政府報告会、期間中のパネル展示

教員のための平和学習講座

講義とフィールドワーク（館内及び大阪城周辺の戦跡）